

第2回 千曲市総合計画審議会 議事録（要約）

日時 平成28年8月3日（水） 午後2時00分

会場 千曲市更埴文化会館小ホール

1. 開会

2. 審議会長あいさつ

3. 会議事項

（審議会条例第6条の規定により、会長が進行）

（1）千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

（地域活力創造課長より説明）

【質疑応答】

委員：『人・物・情報が行き交う賑わいの「広域交流拠点都市」の創造』は、千曲市らしさを感じない、市民を引きつけないキャッチコピーではないかというのが素直な感想だ。もう少し魅力的なキャッチコピーを考えていただければ良かったのではないかと思います。

地域活力創造課長：総合戦略は、特にしごとの創生、ひとの創生、あるいは、まちの創生、そういった部分に特化して、総合計画に先駆けてつくったものだ。今年度、それ以外の部分も含めた総合計画になるので、皆様方のお力をお借りして、新たにつくっていただければと思う。

委員：総合計画を作るに当たってのスケジュールというか、今後の会議のもって行き方について、お考えを伺いたい。

総合政策課長：全体的なスケジュールは、今日の最後の方で再度説明をさせていただく。総合計画を策定するに当たっては、先行して策定した、まち・ひと・しごとの分野に特化した総合戦略を総合計画の方に反映させるということがある。そのため、総合計画の話し合いをいただく前に、まず総合戦略の部分をご理解いただき、その基幹的施策になっている新幹線新駅設置に関しても併せてご理解いただきたいということで、本日説明させていただいているところだ。

委員：これからの10年というのは非常に大事な時期である。また、これからの5年間についても非常に大事な千曲市の存亡にかかった計画だと思っている。そういう面で、どういう運び方とか、どういうことを真っ先になさろうとしているのか教えてほしい。

総合政策課長：新市千曲市が合併して、直後に千曲市新市建設計画を作らせていただいた。

これは旧 1 市 2 町の長期的施策をそれぞれ持ち寄ったもので、そのはじめの 10 年間を一つの区切りとして、第一次の総合計画を立てて進めてきた。今は第一次の後半の 5 年間だが、まだまだやり残した部分がある。大きなハード的な物で言えば、新庁舎の建設に取りかかっているし、戸上中の大規模改修等々、まだまだ決着していない部分がある。そういったものが、第二次の前半、今後 5 年の中に集中をしてくる。新幹線新駅もその時期の中に入ってくるということになる。

基本構想というのは 10 年間を見据えた中での計画づくりだが、その更に前期 5 年、後期 5 年という形で具体的な施策を計画し、その中で事業を進めていくというような形になっている。

会長：前回も少し申しましたが、「まち・ひと・しごとの総合戦略」の地方版は、政府の方針に応じて今年の 3 月までに各自治体は急遽仕上げられたのだと思う。総合戦略や後でご説明していただく新駅の設置に関してのお話というものがすでに先にあるということで、この審議会としてはやりづらい部分はあるかと思うが、まずそれらの説明をしていただき、そういうものもあるということをご委員の方々にご承知いただいた後で、総合計画に関しての本来の審議は次回以降になるだろうというふうに考えている。

今日ご説明いただくものは、総合計画の中の一部という位置づけで考えていただければと思っている。

委員：この先 10 年の計画を立てるという事は分かるが、第一次の最低限 5 年間の反省、検証がどのくらいできているのか。千曲市として、得意分野は達成度が高いと思うし、不得意な部分は当然達成率が低いと思うので、そういうものが次の第二次の時に高い所をもっと伸ばしていくのか、低いところを持ち上げて行くのか、そういう様なことも含めて、やはり第一次の最低限 5 年間の検証がきちんとされていなければならないと思う。第一次の 5 年間の検証の資料を出していただいて、それをもとに今後第二次の総合計画の参考にして行った方が良いのではないかなと思うが、いかがか。

総合政策課長：前回も第一次総合計画の成果資料という話があり、承知をしている。市では、総合計画の進行管理という形で、行政評価をしているが、これは庁内評価のみならず、外部委員の評価もある。そういったデータもあるので、示してまいりたいと思っている。

会長：後でこの会議の今後のスケジュール等の説明はされるのだろうと思うので、その時にまたいろいろなお意見を伺うとして、この「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に限ってのご質問等があったら、まず先にお願ひしたい。

委員：まず、「＜基本目標①＞安定した雇用を創出する」という具体的施策の中で、千曲市内の既存の企業の拡大とか、規模拡大投資、そういうものの企業の優

遇策というものをもっと具体的に出されたらどうか。それから、次の具体的施策の2番目だが、ブランド力向上支援ということだが、まちづくりとしてはあまり何でもブランド、ブランドとやたらにブランド化をしてもアピールが弱いと思う。もっと千曲市と言ったら何だと言うような切り口で、イメージ的な物や取り組んでいる中身をキャッチフレーズ的にアピールするような気持ちも欲しいと。千曲市であれば、蕎麦か杏かと。何か代表的なものをアピールした方がよいではないか。

委員：市内のどの辺りで人口減少が激しいのか、あるいは人口増加をしているところはあるのかとか、もう少し地域の問題点、課題を浮き彫りにしながら、ではどういう風な方向に持っていくかという、千曲市の人しか分からないようなことをもう少し掘り下げて行く必要があるのかと思います。

地域活力創造課長：人口ビジョンを作るに当たって小学校区単位の児童数の推移と推計を行っている。千曲市の中で人口が増えているのは「五加小学校区」で、反対に更級、上山田、東小学校区、その辺は子どもたちも含めて人口が減っている。

現在の総合計画の10年間が終わるところだが、10年前に作った将来像が「千曲の魅力と多彩な力が未来を拓く躍動の都市」で、これを10年前に総合計画審議会の皆様にお決めいただいたということだ。これをまた本年度新しい将来像キャッチフレーズも含めてご意見ご審議いただくようになろうかと思う。総合計画という最上位計画の下に位置づけられているのが総合戦略というようなイメージで理解いただければありがたい。

（２）千曲市新幹線新駅を活かしたまちづくり基本構想(案)について

（新幹線対策室長より説明）

【質疑応答】

委員：総合計画というのは、色々な住民の方の意見を、色々な立場の方の意見を取り入れて、魅力ある千曲市を作っていくものだと思うので、総合戦略や新幹線新駅設置などがベースになるというのは良いが、もう少し精査していただき、総合計画のたたき台になるような資料をご提案いただくと、色々な意見が言えるのではないかなと思う。

総合政策課長：次回以降の審議会では、総合計画の審議のたたき台になるような資料等整えさせていただきたいと考えている。

委員：新幹線の話は、この10年間のこれからの計画の中に必ず盛り込みたいという前提で出てきているのかなと思った。新幹線新駅は、千曲市の発展、人口減対策の一つのプロジェクトとして非常に有効かと思う。ただ、市民が一番心配しているのは財源とか、長期の財政状況のことと思うので、その辺を良く

検討いただいて、総合的に 10 年間の総合計画を考えていただきたいと思っている。

総合政策課長：私どもも向こう 10 年間、この千曲市にとって大変重要な時期だと考えている。財源の話もでたが、何もしなければ人口は減り続けるし、何もしなければ財源が無くなって千曲市が衰退していくということは、恐らく皆さま方もご認識をいただいていると思う。千曲市がこれから先発展していくためには、皆さん方とどうしていけば良いのか、一緒に考え、向こう 10 年間の基本構想、更には具体的な計画づくり、ここを是非とも議論していただけたらと考えている。

委員：ハブを活かす為のアクセスについてだが、現在でも、屋代の市内は混んでいて車が動いていない。八幡の工業団地に関してもまだ空き場所がある。18 号バイパスも課題だと思う。その辺のことをどう考えているのか、構想があれば、お聞かせいただきたい。

新幹線対策室長：駅の場所だが、先ほどの図面の A 案は歴史館がある一帯を想定しており、B 案は千曲市の更埴インターチェンジ周辺を想定している。ただ、具体的にどの場所かというのがまだ申し上げられない状況にあるが、A 案では都市計画道路が都市計画の中で位置づけられているし、B 案では何よりもインターチェンジが近いので、具体的なことが決まった中でそれらとのアクセスをどのようにするか決めていくことになろうかと考えている。

委員：例えば、ここの所に住宅団地を造って東京へ通勤できるような環境をつくるとか、そういう具体的な案が無いと。例えば、物流と言ったらトラックが行き交うだけであって、本当に千曲市に税金が落ちるのかどうか。今日の資料では、良く分からない。

委員：この 10 年の間に、稲荷山が重要伝統的建造物保存地区に認定され、姨捨は農村景観では日本で初めて名勝に指定され、重要的文化的景観に選定された。どちらかというとも重要伝統的景観と伝統保存地区、それから景観審議会の方で歴史的風致計画地区に選定されたので、そういったものをむしろ提案していただいた方が、キャッチコピーとして耳に残るものになるのではないかと。千曲の魅力は何か、そういったものをこれからの会議を重ねていく中で、皆で造っていくに当たっては、資料を総合計画の会議用にもう少し工夫して提案いただけると、もっと積極的な意見が出せるのではないかと感じた。

会長：私も、今いただいた意見に参考に、今後のスケジュール、あるいは進め方というのを、やはりもう一回練っていただく必要があるだろうと思うので、今後のスケジュールの先をお伝えいただいた方がよいのかなと思う。

4. その他

(事務局より日程等の説明)

【質疑応答】

委員：既にいただいた第二次千曲市総合計画策定方針というのは、一切この文言どおりが前提で行くということか。

総合政策課長：策定方針は、第二次総合計画を作るに当たっての方針ということで、すでにパブリックコメントに付させていただいているもので、この方針に従ってまいりたいと考えている。

今後は、それぞれの分野ごと、それぞれ専門的な立場でご意見をいただいたり、庁内の部会と意見を交換したりという、その繰り返しになると思っている。

委員：基本方針の9ページにある第二次千曲市総合計画策定体制を見ていくと、庁内にできる、千曲市総合計画策定委員会が総合計画基本構想案、基本計画案を策定して、それを市長が総合計画審議会に諮問をするということは、白紙ではなくて、当然その基本があって諮問するわけだが、ただその中で、審議会においてどこまで自由な意見を汲んでいただけるのか。その辺の意見がどこまで答申の中に反映できるのか伺いたい。

総合政策課長：この審議会を立ち上げるに当たっては、委員の皆さんの意見は最大限反映をさせていただきたいというふうに考えているが、つくりあげた計画はパブリックコメントを付さしていただくし、総合計画は議会の議決案件なので、議会にも諮りながらということになる。最終的にどういった表現の仕方ewithまとまるかは、これから先の話になるが、決して諮問案をそのまま押し付けるということは考えていないので、ご理解願いたい。

委員：当然、そういう方向になると思うが、ただ、我々が審議していく上では、資料がないと、諮問のままに認めざるを得ない。そうならないようには、やはりある程度の資料を出していただかないと議論にもならないし、深い意見の出し合いにもならなくなってしまうので、是非その辺は考慮していただきたいと思う。

総合政策課長：資料は、私どもの方で準備をさせていただくということでご理解願いたい。

委員：今回の説明に関して、まずは何を決着させてからこの審議会を進めて行くのかというようなことを知りたいと思うが、いかがか。

総合政策課長：第二次総合計画を作るにあたっては、第一次の10年間の総合計画を踏まえてということから、2つの議題を設定させていただいた。白黒をつけるというような考えではなく、まずは策定方針に沿った共通認識を深めていただく中で、それぞれ皆さんがお持ちの専門的な分野の中で考えを出し合いながら作り上げていく、一緒に作って行こうという考えでいる。

委員：白黒ということではなく、一番基本的な考えというものは、どういう所でど

ういうふうに話がまとまっていくのか、この審議会でこれをまとめろという
ような方向性か。

総合政策課長：すでに基本的な考えは策定方針として決定しているので、ここでまとめあ
げるということではなく、ここでいただいた意見は私どもが一旦持ち帰り、
皆様方の意見をどういうふうに反映できるのか検討させていただいて、また
もう一度皆様方にお返しし、またご意見をいただくというキャッチボール的
な関係だというふうにお考えいただければと思う。

会長：次回以降、基本構想、基本計画の諮問…諮問が始まるということだが、私個
人的には、この基本構想、基本計画の審議において、審議会の委員の方々の
ご意見の中で、ここの部分はこうあるべきだとか、あるいはここに関しては
もっと資料がないと判断できないとか、言っていただくことは、充分可能
だと思う。

それから、部会というのはどういう予定にされているのか、お尋ねしたい。

政策推進係長：部会編成は、23 名の方がそれぞれ出身団体とか、小論文で書いていただ
いた内容に基づき、それぞれ分野の方に割り当てさせていただき、そこに職員
がそれぞれ分野ごとに張り付き、審議委員さんと職員合同で審議をしていく
形になる。また、その中で煮詰まらない部分は、また持ち帰りさせていただ
き、そこでしっかり資料だとか個別計画の方を踏まえて検討して、またこち
らの審議会の方へお渡しして審議していただくという形で、段々精度の高い
ものに仕上げていくという形で考えている。

会長：部会の在り方と部会のスケジュールは次回に示していただくことになるのか。

政策推進係長：今回は、皆さまに市長から諮問させていただくのと一緒に部会の事につ
いて触れさせていただき、審議していただく形になる。

委員：今回は、資料が事前に配られてくるのか。

総合政策課長：今回は、コンサルには計画案そのものの作成は委託しない、私どもの手作
り感をもって臨もうとしているが、極力、資料の事前配布は心掛けたいと考
えている。

委員：6 部会あるので多分 4 人ずつだと思うが、それは今日の時点で教えてもら
う訳にはいかないのか。というのも、皆さん色々な会に属されていると思うの
で、その専門、自分の得意な分野に行かれると思うが、その皆さんの所属し
ている団体か何かの資料もあれば、有効に時間が活用できると思う。いかが
か。

総合政策課長：なるべく早く皆さまに部会のことをお示しさせていただきたいと思うが、
今、庁舎内でも体系について、様々な議論をしており、煮詰まりつつあると
ころなので、次回にお示しすることは約束できが、その前に出せるかどうか
というのは検討材料としてお預かりさせていただきたいと思う。

会長：よろしいか。先ほどの説明の中で、基本構想、基本計画は、市の中で検討されるので、次回諮問された暁には、部会ごとに専門の近い所の方々がかなり熱心に議論していただき、変えるべきところは変えるということで行けるのではないか、そういうふうにやっていただければと期待し、一応今日の会議事項は、以上で終わらせていただきたいと思います。

5. 閉会